

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2023 年度日本陸上競技連盟、ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 厚別公園陸上競技場使用上の注意

- 1) 当該種目競技者以外は、競技エリアへの立ち入りを禁止する。
- 2) 競技開始後はフィールド内での練習を禁止する。
- 3) 投擲種目の練習は係の指示に従うこと。また、芝に空いた穴は修復すること。
- 4) 競技開始前の主競技場を使用しての練習は、開会式開始時刻の 15 分前までとする。
- 5) 観戦禁止区域での場所取り、観戦、撮影等は行わないこと。
- 6) 大会前日の投擲練習は、本競技場の芝生保護のため、補助競技場に限る。
- 6) 大会当日の補助競技場での投擲練習は危険防止のため禁止する。

3. 点呼について

- 1) 競技者は指定された時間までに競技者係にて 1 次点呼（○付け）を行い、その後、各競技開始場所に直接集合すること。1 次点呼（○付け）終了時刻・現地集合時刻は以下のとおりとする。

	1 次点呼終了時刻	現地集合時間
トラック競技	競技開始 30 分前	競技開始 20 分前
フィールド競技	競技開始 40 分前	競技開始 30 分前

- 2) 競技者係は、競技場エントランスに設ける。
- 3) 3000m 以上の競技では、通しナンバーの書かれたアスリートピブスの配布をもって一次点呼とする。その他の競技は、競技者係にて掲示されたスタートリストへの○付けをもって一次点呼とする。
- 4) 腰ナンバー標識は、一次点呼の際に競技者係から受け取ること。
- 5) 指定された時間までに 1 次点呼を行わない、または指定された時間に競技開始場所にいなかった競技者は当該競技種目を棄権したものとみなし処理する。
- 6) 代理人による点呼は原則として認めないが、競技者が他の種目に出場中の場合のみ代理人による点呼を認める。その場合はその旨を競技者係にあらかじめ伝えておくこと。
- 7) リレー種目は、オーダー用紙（代表者会議で配布・本部受付に用意）に必要事項を記入し、1 次点呼（○付け）終了時刻の 1 時間前までに競技者係に提出すること。

4. 棄権について

- 1) 事前に棄権することがわかっている場合は、代表者会議にて申し出ること。
- 2) 大会当日、やむなく棄権する場合は、1 次点呼終了時刻までに競技者係に申し出ること。

5. アスリートピブスについて

- 1) 代表者会議で配布したピブスを使用する。
代表者会議を欠席・オンライン参加した大学は、当日朝、本部まで取りに来ること。
- 2) 腰ナンバー標識は、競技者係で配布する。

- 3) 腰ナンバー標識は、個人トラック種目出場者については両側につける。4×100mRについては第4走者のみ両側につける。4×400mRについては第2・第3走者が左側に、第4走者が両側につける。
- 4) 3000m以上の競技に出場する選手は、1次点呼の際に競技者係にて配布するアスリートビブスを体の前後につける。

6. シューズ、用器具について

- 1) 各競技者は日本陸上競技連盟競技規則 TR 5.2 に基づいてシューズを着用すること。

以下の表は日本陸上競技連盟競技規則より抜粋した靴底の最大の厚さである。これ以上の厚さのシューズで出走することはできず、仮に基準より厚い靴で競技を行った場合は競技規則に基づいて失格となるので注意すること。

種目	靴底の最大の厚さ
フィールド種目（三段跳を除く）	20mm
三段跳	25mm
ハードル種目を含む 800m 未満のトラック競技	20mm
障害物競走を含む 800m 以上のトラック競技	25mm

- 2) スパイクシューズのピンは全天候用のもので、9mm（走高跳・やり投は 12mm）以内とする。
- 3) 競技に使用する用器具は、競技場に用意されたものを使わなければならない。投擲物の個人所有のもの使用は認めない。

7. 競技の抽選・番組編成について

- 1) トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順はアスリートランキング記載の順による。
- 2) 女子 100m 決勝のレーン順は、予選の結果より主催者が抽選する。

8. トラック競技について

- 1) 本大会では、気象状況によらず正走で競技を行い、バックストレートでの実施は行わない。
- 2) リレー競技においては、同一チームの競技者は同一のユニフォームを着用する。
- 3) 共通リレー種目では、リレー種目で登録していないが他の共通種目でエントリーしている選手の出場を 2 人まで認める。
- 4) OP リレー種目では、リレー種目で登録していないが他の種目でエントリーしている選手の出場を 2 人まで認める。

9. フィールド競技について

- 1) 走高跳を除く共通種目では、3 回までの試技の結果によるトップ 8 が、追加で 3 回の試技を行う。
- 2) 走高跳を除く OP 種目では、全員が 3 回の試技を行う。
- 3) フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。
- 4) 走高跳でのバーの上げ方は下記のとおりとするが、審判員の判断で変更することもあり得る。

種目	練習	試技
男子 共通・OP 走高跳	1m40	1m45 より 5cm 1m70 より 3cm
女子 共通・OP 走高跳	1m20	1m25 より 5cm 1m50 より 3cm

- 5) 三段跳の踏切版は砂場から 11m の位置に設置する。
- 6) 円滑な競技進行のため、試技を行う際には制限時間を遵守すること。

10. 抗議について

- 1) 競技進行中に起きた競技者の行為、または競技成績に関する抗議は、その競技者あるいはチームの代表者により結果が正式発表（アナウンス）されてから30分以内（次のラウンドが行われる競技では、その結果が正式に発表されてから15分以内）に、総務員を通して口頭で審判長になされなければならない。時間以内に申し出がなければ、何ら問題はなかったものとみなされる。
- 2) 抗議に対して審判長は速やかに裁定する。その裁定を不服とし、さらに抗議する場合は抗議申立書と預託金10,000円を添えて上訴する。その預託金は抗議が受け入れられなかった場合は没収される。
- 3) この間の事務処理は総務員が行い、抗議者は大会本部で待機する。

11. 撮影について

- 1) 大学関係者以外による撮影は禁止する。
- 2) 競技者（選手）がカメラで撮影されることによって嫌悪や不安に感じられると思われる場所からの撮影は禁止する。また、撮影をしている場所によって不振と判断された場合、競技役員が注意・指導、撮影内容の確認をする場合がある。

12. 表彰について

- 1) 本大会では、個別の種目についての表彰式は行わない。
- 2) 各共通種目第3位までの入賞者にはメダルと賞状を、第4～6位の入賞者には賞状を授与する。競技終了後アナウンスがかかった後、競技場エントランスにて競技者または代理の者が受け取る。
- 3) 対校得点については、男子総合、女子総合、トラック総合、フィールド総合それぞれ3位までの入賞校には、閉会式の表彰式でトロフィーを授与する。
- 4) 対校得点は、
1位：8点、2位：7点、3位：6点、4位：5点、5位：4点、6位：3点、7位：2点、8位：1点
とする。ただし、出場人数が8人以下の場合は
1位：4点、2位：3点、3位：2点、4位：1点
とする。棄権によって8人以下となった場合は、8人以下の得点を採用する。
- 5) 最多得点校を優勝校とする。対校得点が同点の場合は、
①優勝種目数の多い方、②各種目での2位の数の多い方、③各種目での3位の数の多い方、④4×100mR
順位の高い方、⑤競技参加人数が少ない参加校、の条件の順で上位とする。

13. その他

- 1) 集団での声出し応援は可とするが、原則としてマスクを着用して行うこと。
- 2) 個人での声援については、周囲の状況に応じ、場合によってマスクを着用すること。
- 3) 開・閉会式に参加人数の制限は設けない。特別な理由がない限り、全員出席すること。
- 4) 競技者の衣類の管理は、すべて各自、各校で行うこと。役員・補助員による運搬は行わない。
- 5) 盗難・紛失について、主催者で受領した物品については一時保管するが、その他のものについては一切責任を負わない。なお、主催者で受領した物品等は大会本部で管理する。
- 6) 競技中に発生した傷害、疾病についての応急処置は主催者側で行うがそれ以降の責任は負わない。
- 7) 大会期間中に出たゴミは、必ず各自で持ち帰ること。
- 8) 不審者・不審物等を発見したら、近くの大会本部まで連絡すること。
- 9) その他、不明な点は大会本部まで問い合わせること。